

経営革新事例

大阪産業経済リサーチセンターより、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認を受けた企業の経営革新の取り組みを紹介します。

ペット食品のブランド化に挑む ～水産物卸売業者による加工済ペット食品の製造～

株式会社 丸よし水産

大阪産業経済リサーチセンター 研究員 木村 和彦

企業名：株式会社丸よし水産
事業内容：水産物卸売業
従業員数：17名（令和6年11月末現在）
住所：大阪市大正区小林西二丁目4番1号
電話：06-6647-6868
URL：<https://maru44.co.jp/>

概要

株式会社丸よし水産（以下、同社）は、先代社長・丸本宗明氏が平成元年、大阪市浪速区敷津東で創業、平成13年に有限会社化、15年に株式会社化した水産物卸売業者です。

日々、京阪神のホテル、旅館、飲食店等から受注した鮮魚及び冷凍食材を、長年築いた漁港ネットワークを活かし、徳島中央漁港、箕島漁港、明石漁港等の近畿、四国の漁港を中心に、直接買付けを行い、自社便で配達することで、鮮度とコストパフォーマンスの高い商品を提供し、売上げを伸ばしてきました。



本社正面

さらに、得意先からの安心安全な食材の提供の要望には、31年の大阪市大正区への本社移転に伴い、電解水による洗浄殺菌・真空機器・ブラストチラー（粗熱とり・急速冷却・急速凍結）等を備

えたセントラルキッチンを設立することで対応を強化しています。

また、令和元年には、水産食品加工施設 HACCP 認定を取得し、信用を高めることで、全国のホテル・旅館との取引も増加しています。

従業員への事業承継

令和5年、コロナ禍で借入れを増加した金融機関に対して、今後の長期的な展望を理解してもらううえで必要不可欠と考え、創業者であり代表取締役であった丸本宗明氏が会長に就任し、専務取締役である林正和氏が、代表取締役に就任するという事業承継が行われました。

60歳代の丸本氏から、40歳代の林氏への事業承継は、金融機関だけでなく、自社自体も若返りを図っている取引先からも好評を得ており、要望へのより迅速な対応、新たな事業への取組みに期待がかけられています。

担当した弁護士によると、同社の事業承継を進めていく中で、トラブルはほとんどなく遂行できたことは極めて稀だということです。

経営革新への取組み

近年増加している取引先からの要望は、取引先の厨房内作業をより短縮できるオーダーメイドの食品加工品の注文です。

人間向けのオーダーメイド加工事業は、本会社に併設するセントラルキッチンで実施しており、このことは、同社の強みのひとつとなっています。

そんな中、ペット施設関連の取引先から、「働き方改革等により、ペット食材の加工に人手を割くことが困難になっているため、加工済のペット用食品を納入できないか？」という相談が寄せられました。

この安心・安全な食材を使い、かつ安価であるという取引先からの要望に対し、同社では、規格外の魚等を利用することや、真空パックした商品を急速冷凍機にかけて鮮度を保ち長く保存できるようにすること、X線検査機を導入して異物混入を防ぐこと等により、顧客の求める安価、安全、鮮度保持を容易にする加工済ペット食品加工品の提供を行うこととしました。

この計画を基に、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請を行い、『水産物卸売業者による加工済ペット食品の製造』という内容で、令和2年8月に承認を得ています。



セントラルキッチン

令和4年には、本社前に100坪の大型冷凍庫を設置し、食品加工品を保管することで、品質管理・納期管理機能の強化を図っています。

この結果、得意先からのクレームはゼロとなっています。また、廃棄処分もゼロであり、地球環境にも貢献することにもなりました。

今後の展開

同社では、取引先から求められているものは、価格の安さよりも、取引先の細かな要望に応えるオーダーメイド加工能力であると考えています。

加えて、徹底した品質管理を追求することから、差別化は図られると考えています。

それを顕すものとして、承認を得た経営革新計画実施の結果、令和5年度の経営革新計画達成証等交付企業（計画期間終了時において、「中小企業等の経営強化に関する基本方針」に基づく経営指標の目標伸び率を達成した企業）となりました。

同社は、計画を策定し、その計画を実施し、成果をあげることができたのです。今後は、サンプル製造チームを立ち上げることで対応の迅速化を図



経営革新計画達成企業
シンボルマーク

ること等、さらなる顧客満足度の向上を行っていくこととしています。

また、『添加物一切無し、ヒューマングレードの自信作！ 原材料100%の無添加ウェットフードが登場しました。水無し、油無し、保存料無しという安心の仕様で、愛犬に安全な食事を提供します。創業者が肉アレルギーを持つ愛犬のために開発したという、特別な商品です。』というコピーで、オリジナルブランド「ORUGAM」（逆から読めばMAGUROになります）を立ち上げ、消費者向けペットフードの販売にも取組みを開始しています。



ブランド「ORUGAM」

今後は、これらの事業拡大を促進させていくために、事業承継の経験を活かし、後継者不在の同業他社のM&A（Mergers（合併）やAcquisitions（買収）の総称）も、積極的に検討していきたいとしています。

【謝辞】

林正和代表取締役、井上隆司総務部長には大変ご多忙な中にも関わりませず、本稿作成にあたり、多大なご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

※大阪経済に関するレポートは、当センターのWebサイトからご覧いただけます。

●大阪産業経済リサーチセンター
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o110010/aid/sangyou/newpage4.html>

